

身近な**災害リスク** を知っていますか (施設園芸向け)

近年、日本各地で頻発する**大規模な自然災害**が、あなたの営農する地域で起こらないという保証はありません。



災害の発生リスクに応じて、被害の未然防止や被害を受けてしまったときの補償など、日頃からの**備えが重要**です。



自然災害は日本各地で発生しています



台風

- ▶ 台風は、平均的に**毎年3個が上陸**しています。
※1993～2022の30年間の平均
- ▶ 近年、台風が強い勢力を保ったまま上陸し、**観測史上1位**となる**最大瞬間風速**や**降水量**などが**各地で記録**されています。

台風被害の様子



台風の上陸数

年	上陸数	年	上陸数	年	上陸数
1993	6	2003	2	2013	2
1994	3	2004	10	2014	4
1995	1	2005	3	2015	4
1996	2	2006	2	2016	6
1997	4	2007	3	2017	4
1998	4	2008	0	2018	5
1999	2	2009	1	2019	5
2000	0	2010	2	2020	0
2001	2	2011	3	2021	3
2002	3	2012	2	2022	3

令和4年 台風15号

6地点で**24時間降水量の記録更新**(静岡県静岡市鍵穴で405.0mmなど)

令和3年 台風8号、14号

統計史上初めて、**宮城県(台風8号)**と**福岡県(台風14号)**から台風が上陸

令和2年 台風10号

33地点で**最大瞬間風速の記録更新**(長崎県野母崎で59.4mなど)

令和元年 台風19号

103地点で**24時間降水量の記録更新**(神奈川県箱根町で942.5mm(全国歴代1位)など)

※気象庁データより



竜巻

- ▶ 竜巻は、平均的に**毎年19件**の発生が確認されています。
※2012～2022年の平均、海上竜巻を除く(気象庁データより)
- ▶ 令和3年5月にも、静岡県中部で**竜巻による被害**が発生。

竜巻の発生確認数

年	件数	年	件数
2012	29	2018	21
2013	33	2019	10
2014	21	2020	11
2015	26	2021	15
2016	18	2022	15
2017	10	平均	19

特別警報の発表件数

※特別警報とは、「警報」の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起これと予想される場合に発表し、最大限の警戒を呼びかけるものです。

- ▶ 平成25年8月30日から運用が開始され、**10年で1,856件(1年あたり平均約186件)**の特別警報が発表されています。

※気象庁HPより



大雪

➤ 近年、**平年の2倍を超える積雪となる大雪**や**短時間に降り積もる大雪が発生**しています。

※気象庁データより

令和3年1月大雪

全国6地点で150センチを超える降雪
(新潟県高田で**24時間降雪量103cm**など)

令和2年12月大雪

全国11地点で200センチを超える降雪
(群馬県藤原で**291cm**など)

平成26年2月大雪

24地点で平年の200%を超える積雪
(山梨県甲府市で**814%**など)

雪による被害の様子



地震

震度5以上の地震の発生回数

年	発生回数	年	発生回数
2013	12	2018	11
2014	9	2019	9
2015	10	2020	7
2016	33	2021	10
2017	8	2022	15

➤ **震度5以上**の地震は、最近10年間では平均して**毎年12回**発生しています。

※2013~2022の10年間の平均 (気象庁データより)



大雨

➤ 近年、**大雨や短時間豪雨の発生回数が増加**しています。

※統計が始まってから最初の10年間 (1976~1985) の平均と最近10年間 (2013~2022) の平均とを比較。

大雨

(日降水量200mm以上)

全国1,300地点において1日当たりの降水量が200mm以上となる平均年間日数は、統計開始後最初の10年間では約160日でしたが、最近10年間の平均では**約239日**となるなど、**約1.5倍に増加**しています。

※全国[アメダス]日降水量200mm以上の年間日数より

短時間豪雨

(1時間降水量80mm以上)

全国1,300地点において1時間当たりの降水量が80mm以上となる平均年間発生回数は、統計開始後最初の10年間では約14回でしたが、最近10年間の平均では**約25回**となるなど、**約1.8倍に増加**しています。

※全国[アメダス]1時間降水量80mm以上の年間発生回数より

その他の自然災害 (落雷や降雹など)

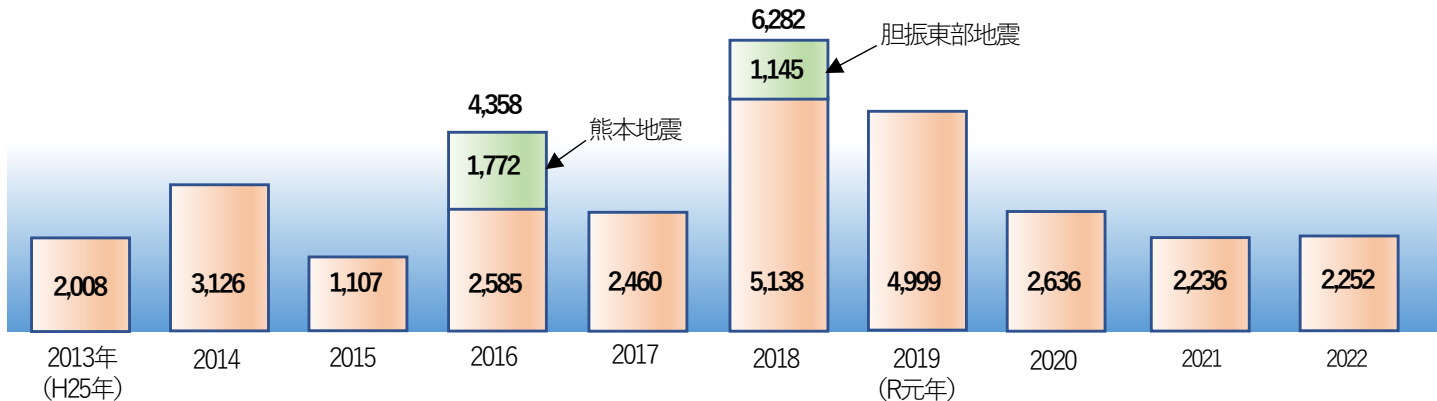
➤ **落雷や降雹**は発生しやすい時期や地域に偏りがありますが、園芸施設共済に加入している農業用ハウス等では、令和4年度中に**落雷による被害が800棟以上、降雹による被害が1,200棟以上** (※) 発生しています。

※令和4年度園芸施設共済の実績 (R5年4月速報値)

農林水産業への被害は毎年発生しています！

- 農林水産関係の自然災害による被害額の最近10年間の平均は、**約3,036億円**となっており、その中でも**2018年と2019年は2年連続で台風による甚大な被害**が発生しました。

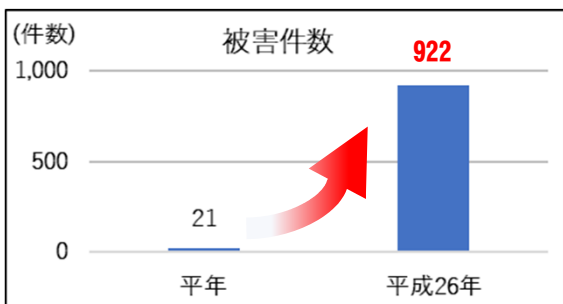
過去10年の農林水産関係の自然災害による被害額



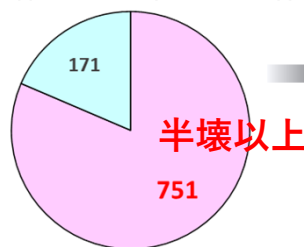
農業用ハウスに突然の大被害が発生しています！

山梨県 平成26年（2014年）2月に大雪が発生

- 被害件数は**平年の44倍！**
- 1棟当たりの平均的な被害額は**約44万円！**



被害件数のうち半壊以上の件数

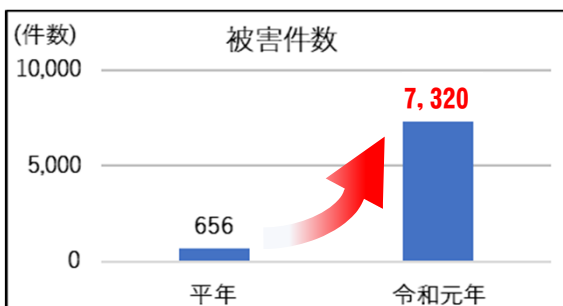


- 被害件数の**約8割**が半壊以上の被害**(約4割は全壊！)**

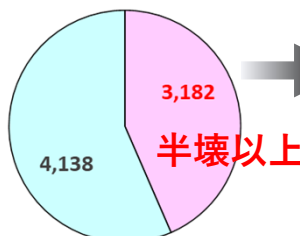
※山梨県における園芸施設共済に加入しているパイプハウスの1～3月事故による比較。平年は過去10年間（平成23年～令和3年）の平成26年を除いた平均。

千葉県 令和元年（2019）年に台風15号・19号が襲来

- 被害件数は**平年の10倍以上！**
- 1棟当たりの平均的な被害額は**約26万円！**



被害件数のうち半壊以上の件数



- 被害件数の**約4割**が半壊以上の被害**(約1割は全壊！)**

※千葉県における園芸施設共済に加入しているパイプハウスの9月・10月事故による比較。平年は過去10年間（平成22年～令和2年）の令和元年を除いた平均。